

令和4年度 第1回富山市障害者自立支援協議会（全体会） 会議録

日 時：令和4年8月30日（火） 13：30～14：30

場 所：富山市障害者福祉プラザ 多目的ホール

出席者：高 城 繁 委員、宮 田 徹 委員、石 田 陽 一 委員  
大 西 貞 夫 委員、中 田 隆 志 委員、長 澤 正 雄 委員  
西 田 弥 佳 委員、山 村 敏 博 委員、中 井 義 則 委員  
沼 田 佳奈子 委員、野 口 雅 司 委員、井 波 博 典 委員  
前 島 靖 彦 委員、中 島 昌 未 委員、塚 原 久 永 委員  
稲 村 睦 子 委員

欠席者：吉 本 博 昭 委員、竹 内 誠 委員、舟 坂 雅 春 委員  
橋 本 英 徳 委員

事務局：田中 福祉保健部長、鎌田 福祉保健部次長、加藤 福祉保健部次長、  
西田 障害福祉課長、丸本 保健予防課長、大浦 障害福祉課主幹、  
田知花 障害福祉課副主幹、深山 障害福祉課企画係長、  
永野 障害福祉課自立支援係長、荒井 障害福祉課医療係長

市委託相談支援事業所：

自立生活支援センター富山、富山市恵光学園、セーナー苑 We ネット、  
ゆりの木の里相談支援事業所、あすなろセンター、  
富山市障害者福祉センター基幹相談支援室

議 題：

- 1 委託相談支援事業者の運営等に関することについて
- 2 基幹相談支援室の事業等について
- 3 障害福祉計画の進捗状況について
- 4 地域の関係機関によるネットワーク構築について
- 5 地域生活支援拠点の整備について
- 6 障害福祉の現状について

(会議資料)

- 1 富山市障害者自立支援協議会委員名簿
- 2 座席表
- 3 関係資料

議事概要：

- 1 開会
- 2 議事

委員などの発言要旨：

(事務局)

会議に先立ち、今回は委員の委嘱が行われてから初めての会議となりますので、本会議の会長選出についてお諮りしたいと思います。富山市障害者自立支援協議会運営要綱第4条の規定により、会長は、委員の互選により定めることとなっております。

(委員)

事務局の案はありますか。

(事務局)

事務局案としては、高城委員に引き続き会長をお願いしたいと考えております。

(委員)

異議なし。

(事務局)

それでは、高城委員に会長をお願いしたい。

(事務局)

会長より、副会長の指名をお願いいたします。

(会長)

副会長は、宮田委員をお願いしたいと思います。

(副会長)

自席で会釈

開 会

(会 長)

それでは議題に入らせていただきます。

今年度第1回目の富山市障害者自立支援協議会でございます。今回の会議は、議題1として「委託相談支援事業所の運営等」、議題2として「基幹相談支援室の事業等」、議題3として「障害福祉計画の進捗状況」、議題4として「地域の関係機関によるネットワーク構築」について、議題5として「地域生活支援拠点の整備」について、議題6として「富山市の障害福祉の現状」について等計6つの議題があります。すべて事務局より説明し、協議する場としたいと思います。本日の質疑につきましては、議題1と2の説明の後と、議題3と4の説明の後、議題5と6の説明の後に行うという進め方をしたいと思います。

それでは、議題1と2を事務局より説明してください。

(事務局)

委託相談支援事業者の運営等に関することについて説明

基幹相談支援室の事業等について説明

(会 長)

ただいま議題1と2について説明がありましたが、委員の皆様からのご質問、ご意見はございますか。

(委 員)

議題1について、相談支援事業者のマンパワーが不足しているという意見が多く、適切な支援を受けることが難しいのではないかと思うが、市はどのように考えているのか。

(事務局)

確かに相談員のマンパワー不足についての話は聞いているところですが、計画相談事業所(第1層)は増えてはきている状況です。

また、委託相談支援事業所(第2層)や基幹相談支援室(第3層)もあり、相談の機能は一定程度機能していると考えています。

今後も、その3層構造がしっかりと機能するように、相談支援ワーキング等で検討していきたいと考えています。

(委員)

行政も相談支援事業所も大変尽力していただいていることは理解しているが、相談支援事業所も増えているようだが、相談件数がそれ以上に増えることに対する施策も考えていかねばならないと感じている。

(会 長)

その他、いかがでしょうか？

ないようでしたら、議題3と議題4について説明してください。

(事務局)

議題3 障害福祉計画の進捗状況について

(各ワーキング)

議題4 地域の関係機関によるネットワークの構築について

(会 長)

ただいま議題3と4について説明がありましたが、委員の皆様からのご質問、ご意見はございますか。

(委 員)

それぞれのワーキングでは、様々な個別のケースについて、複数の機関が集まって、個別支援会議等をする場はあるのか。

(専門支援ワーキング)

それぞれの事業所では、基幹相談支援室や個別の事業所の繋がりで連携はしていますが、それがシステムとして確立しているかという点と不十分だと考えています。

また、専門支援ワーキングでは、あくまでも個別ケースから地域課題を抽出することを目的としており、個別支援会議とは目的が異なるものとなっています。

(委 員)

個別支援ケースを協議する個別支援会議について、どのように開催すべきか等の開催方法などについて指導していることはあるか。

(事務局)

市として指導していることはありません。

(会 長)

他に何かご質問、ご意見はございますか。

ひきつづき、議題5と議題6について説明してください。

(事務局)

議題5 地域生活支援拠点等について説明

議題6 障害福祉の現状について説明

(会 長)

ただいま議題5と6について説明がありましたが、委員の皆様からのご質問、ご意見はございますか。

(委 員)

地域生活支援拠点とは、1か所なのか。また、どのような障害者が支援の対象となるのか。

(事務局)

1か所で複数の機能を有する整備方法もあるが、富山市は既存の複数の事業所等の連携により、必要な機能を確保する「面的整備型」で整備することとしています。対象者について

は、どのような障害をお持ちの方も対象としております。

(委 員)

地域生活支援拠点について、多くの行政機関において、形式的に面的整備型として設置しているところが多いと聞く。コーディネーターの配置等、実効性のあるものとして整備していく必要があると考える。

また、相談支援専門員のマンパワー不足の話に戻るが、中長期的なマンパワーの養成についても考えないといけないと感じた。

(委 員)

地域包括支援センターにおいても、様々なケースに関する支援会議を行っているが、地域支援が重要だと感じている。

地域での障害者支援においては、高齢者に比べ、どのように障害者に接してよいのか分からないという意見もあり、地域における障害者への理解促進を進めることが大変重要であると感じた。

(会 長)

何かご質問などございますでしょうか。

それでは以上で本日の議題はこれで終了とさせていただきます。どうもありがとうございました。

閉 会